

26.10.21

つな元気に育てて

窪田

川南園児ら川に稚魚放流

川南町の平田淡水漁業協同組合(河野寛治組合長、52人)は17日、同町の垂川橋下でつなの稚魚約3千匹の放流を実施した。資源保護のほか、環境美化の啓発にもつなげようと地元の子どもたちを初めて招待。同漁協は「川を汚せば海まで汚れることなどを伝えたい」としている。

同漁協では平田川の保全のため、つなのほからずき、カニやアユ、コイをこれまで放流。組合員らのみで毎年実施していたが、今年は同町の中央保育所(小山美智子所長)の年長児や保育士らも加わった計30人できやかに行くことにした。

園児らは水辺に行くと「ハイハイ」などと声を掛けなが



つなの稚魚を放流する園児たち

らバケツに入った稚魚を次々と放流。西田稔和ちゃん(6)は「元気に育ててほしい。また放流してみたい」と話していた。

河野組合長(64)は「以前より魚は少なくなったが、若い釣り人にも頼まれている川。周囲の協力を得て守っていきたい」と話していた。